

コミュニティ支援「つながる、ひろがる」のご報告



**LIGUNA 様のポイント募金によるご支援のおかげで、
東日本大震災によって被災した、今も課題に取り組む現地の方々に
寄り添う支援を行なうことができました。**

心より感謝申し上げます。

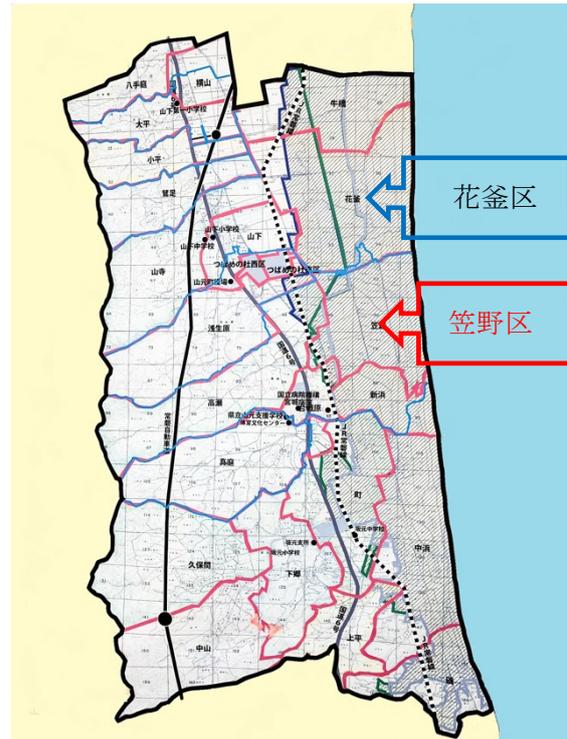
この度は、宮城県山元町におけるコミュニティ支援活動にご寄付を賜り、心より感謝いたします。ご支援のおかげで住民主体の活動をサポートすることができました。感謝の気持ちを込めて、貴社より頂戴しましたご寄付の活用につきまして、写真と共にご報告いたします。

1. 宮城県山元町沿岸部におけるコミュニティ支援「つながる、ひろがる」

(1) 概要

宮城県山元町は東日本大震災によって、死者 637 人、流出を含む家屋被害 4,440 棟という甚大な被害を受けました。町の半分が浸水する大変な状況でした。ADRA Japan は、2011 年 3 月から山元町での支援活動を開始し、炊出し、仮設住宅への物資支援、復興応援センターの運営支援、コミュニティ支援、漁港支援等様々な活動を通して山元町と繋がりをもってきました。今回活動を行った笠野区は沿岸部に位置し、震災前は 230 世帯の方が住んでおられましたが、津波により家屋が流出するなどして、現在住んでいる方は 29 世帯。暮らす方々は少ないものの、今もこれからも確かにそこに暮らす方々がいます。29 世帯中 18 世帯は沿岸部、11 世帯は笠野区の中でも比較的内地の赤坂という地域に暮らされています。震災前と違って物理的に距離が離れていることやコロナ禍の影響からも、住民間の交流には限りがあり、いざという時に助け合えるほどの関係はごく一部に限られているのが現状でした。

山元町行政区地図



(2) 活動内容

コミュニティ再構築の一助となるよう、以下の活動を行いました。活動は、ADRA と地域の取りまとめ役の方たちとの協力による支援として実施し、住民の自立を妨げない範囲で行うことを大切にしました。

a. グラウンドゴルフの活動

現在笠野区では高齢者を中心に毎月 1 回「ほっこりかさのカフェ」と題して山元町社会福祉協議会のサポートの元、グラウンドゴルフを行っています。今回は、グラウンドゴルフ用品一式の寄贈を行いました。寄贈後、三役会議で、用具を活用しての住民の交流計画について話し合いを行ったと報告を受けています。また、物理的に離れた距離に暮らしている笠野区民も多く参加してもらうことを目指されていることを受け、周知方法等のアドバイスを行いました。寄贈後、実際に活動された際には、これまで参加したことのない方の参加も見られ、今後さらなる参加者の拡大を期待しています。

グラウンドゴルフ用品寄贈後の活動日：8 月 17 日、9 月 21 日、10 月 19 日、11 月 16 日、12 月 21 日（予定）



寄贈したグラウンドゴルフ用品一式と区長



グラウンドゴルフを楽しむ様子

b. 住民主催イベントへの協力

7月29日、30日に開催された八重垣神社夏祭りに打ち上げられる花火に協賛いたしました。当初予定していた神輿の担ぎ手の手配については、今年は住民の方の繋がりの中で手配することができたため、ADRAでは行わないこととしました。住民の方々で行えることが理想のため、喜ばしいことでした。

また、10月29日に実施された芋煮会へのお手伝いを行いました。震災後、笠野区に暮らしていた全ての方が被災した状況下では、芋煮会は実施できず数年後に再開するも、2020年にコロナ禍となり、再び実施ができなくなっていました。昨年久しぶりに小規模で再開しましたが、コロナの状況も落ち着いてきた今年は規模を拡大し、より多くの笠野区在住の方が参加できるようにと、工夫されました。当日は38名の方が参加されました。



八重垣神社の中でお祭りを楽しむ人々



昔からの伝統で、海へ入る神輿



芋煮会にはたくさんの方の参加があった



食事をしながら会話もはずむ

c. みんなのとしょかんの運営補助

みんなのとしょかんは、笠野区に隣接する花釜区に2013年に地域の住民のために設置されたプレハブの図書館です。花釜区にあった集会所は当時津波によって流出し、集まる場や娯楽が少なくなった住民にとっては、好きな時に出向いて好きな本を借りられる環境は日常を豊かにする大きな役割を果たしてきました。図書館は子供たちの放課後の遊び場にもなっています。この度、みんなのとしょかんさんのご希望で、鉄棒の設置にかかる費用の一部負担をするとともに、夏の日除けにもなるパラソルの寄贈、新しい図書購入などをしました。

鉄棒は、子どもたちだけではなく、大人が高さの高い方の鉄棒にぶら下がって健康法としても使っています。パラソルは、乳幼児が遊ぶ際にそれを見守るお母さんたちの休憩場所や、子どもたちの休む場にもなりました。秋冬になるにつれて出番は少なくなりましたが、また暖くなればパラソルの下に砂場を作りたいとおっしゃっていました。図書の選定は全て住民の方でしていただいています。「うみの100かいだてのいえ」などの絵本や、文庫や時代小説、漫画、「10さいからの防犯、防災」という実用書などを選ばれていました。防災に関する意識を高くもっておられることも改めて感じました。新しい図書が入ると早速住民の方々が借りにこられているそうです。



パラソルの寄贈



鉄棒で遊ぶお子さん



新しく購入した絵本を読むお子さん



運営している住民の方との打ち合わせの様子



綺麗に整理されたとしょかんの中



野菜の売り上げは運営費の一部にしている

(3) 住民からの声

・笠野区長

「グラウンドゴルフ用品をいただいて、これからは気軽に集まれると思っている。参加者が増えるといいな。芋煮会もみんな喜んで。当日は雨も降らなかったら良かったですよ。またいつでも山元町に来てください。」

・笠野区副区長

「芋煮会の参加者は子供達も含め 38 名でした。天気は曇りでしたが雨が降らず、少し冷たい風でしたが気温も芋煮を食べてちょうどいい感じでした。ビンゴゲーム開始前に、震災後から足湯でお世話になっているアドラジャパン様たちのことを紹介すると、感謝の拍手がありました。ありがとうございました。」

・みんなの図書館代表

「新しい本が入るとすぐ借りていかれるね。今回いただいたバスケットの漫画は、中学生がバスケット部のみんなで読むみたい。本当にありがとうございました。」

(4) 支出

グラウンドゴルフの活動		
項目	詳細	費用 (円)
資材費	グラウンドゴルフ用品一式	83,600
印刷費	必要書類印刷等	2,212
旅費交通費	スタッフ旅費交通費	39,170
人件費	スタッフ人件費	100,000
	合計金額	224,982
住民主催イベントへの協力		
項目	詳細	費用 (円)
資材費	ビンゴ用品、花火打ち上げ協力、芋煮会必要備品等	43,180
旅費交通費	高速代、ガソリン代、宿泊費	78,903
人件費	スタッフ人件費	100,000
	合計金額	222,083
みんなのとしょかん運営補助		
資材費	鉄棒設置費、パラソル代、図書購入費	142,400
旅費交通費	東京⇄山元町	39,170
人件費	スタッフ人件費	130,000
通信費	スタッフ公用携帯、wifi 代	30,727
	合計金額	342,297
	総額	789,362

貴社とご寄付をいただいた皆さまのお力添えにより、山元町の方々のつながりを作り、さらに広がりをもたせることができました。何よりも主役は住民の方々であることを忘れずに、黒子としてのお手伝いができたかと思えます。心温まるご支援をいただき心から感謝いたします。今後も ADRA は皆さまとともに、過去に被災された人々にも目を向け、一人ひとりに寄り添った支援活動を継続していきます。